

読書の小径

Vol.113

土岐市図書館

☎ 1253

新刊案内



「ごちそうが
いっぱい」
きむらゆういち／作
あべ弘士／絵



「ゆっくりおやすみ
にじいろのさかな」
マーカス・フィスター／作
谷川俊太郎／訳

本棚の中のニッポン	江上敏哲
東大のディープな日本史	相澤理
自分を変える英語	野村りり子
巨大津波は生態系をどう変えたか	永幡嘉之
100円グッズで水耕菜園	伊藤龍三
永遠の故郷 CD版	吉田秀和
花のさくら通り	萩原浩
ブルックリン・フォリーズ	ポール・オースター



「フェルメール」

オランダのマウリッツハイス美術館からフェルメールやレンブラント、ルーベンスなど17世紀オランダ、フランドル絵画のコレクションが来日中です。そこで、展覧会のシンボリック作品「真珠の耳飾りの少女」の作者フェルメールに関する図書を紹介します。

ジャン・フレ・マルタン『フェルメールとスピノザー永遠の公式』。画家フェルメールと哲学者スピノザは、ともに1632年にオランダで生まれています。2人に交流があったという資料は無いようですが、著者はフェルメールの描いた「天文学者」のモデルはスピノザであると主張し、画家と哲学者の出会い、2人の秘められた共通性に迫ります。

フランク・ウイン『フェルメールになれなかった男ー20世紀最大の贋作事件ー』。ナチスも騙された天才的贋作者ファン・メーヘレンの栄光と挫折の人生を小説のようにスリリングに描いた作品です。美術作品の真贋を判断するとはどういうことか、などについても考えさせられます。

シュー・ヤマモト『キャット・アートー名画に描かれた猫ー』。ラスコーの洞窟壁画からルネッサングリットまで、名画の登場人物をすべて猫にした画集です。取り上げられた巨匠の名は「三毛ランジェロ」、「レオナルド・ニャビンチ」、「ドラネコワ」。作品は「モニャリザ」やフェルネーコの『真珠のイヤリングをした少女猫』というように、タイトルや説明文まで猫のパロディになっています。

10月の休館日

1日(月)、15日(月)、22日(月)、26日(金)、29日(月)

開館時間

火～金曜日 10:00～19:00
土・日曜日、祝日 10:00～17:00
図書館は無料でご利用いただけます。

お知らせ

▷ 祝日開館 9月17日(月)と22日(土)の祝日は午前10時から午後5時までの開館です。振替休館はありません。

▷ 臨時休館 蔵書点検のため、9月24日(月)から28日(金)まで臨時休館します。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。